

元気なまちづくり市民講座

漁村が誇る3つの“あ”のまちづくり

青木繁《海の幸》の“あ”

日本を代表する画家の青木繁が名画《海の地》を描いた地。青木が滞在した小谷家住宅や《海の幸》記念碑、景観などを富崎地区の文化財としてまもり、子どもたちに誇りを語り継ごう。

安房節(船唄)の“あ”

マグロ延縄船発祥の地。船唄「安房節」をはじめ、漁村ならではの知恵や民話・神話がたくさん。どんな歴史・文化があるのか調べてみよう。



アジのひらきの“あ”

安房の女性は長寿日本一。その秘訣は、海と山の幸にあります。とくに漁師料理はうんめつど！おらがごっつおを召し上がれ。

平成22年2月13日(土)・14日(日)

参加費無料 (昼食代は各自負担=500×2日・要予約)

2月13日(土)		2月14日(日)	
10:00	富崎地区公民館集合	10:00	富崎地区公民館集合
	「青木繁が愛した漁村の物語」 池田恵美子		講話② 福留強 (聖徳大学教授)
	布良・相浜ウォーキング		グループ別意見交換
	昼食「おらがごっつお」…相浜漁協		昼食「おらがごっつお」…富崎館
	「地域まるごと博物館」 愛沢伸雄		グループ別発表
	講話① 齊藤ゆか (聖徳大学講師)		15:30頃
16:00頃	参加者の自己紹介・感想・意見交換	※スケジュールの内容は変更の場合があります。	
	終了		

主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム

協力：聖徳大学生涯学習研究所、NPO法人全国生涯学習まちづくり協会

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

まちづくり講座：申込書

TEL&FAX：0470-22-8271 Eメール：awabunka@awa.or.jp

氏名 _____ 男・女 電話番号 _____

住所 〒 _____

青春

作:サミュエル・ウルマン

青春とは、人生の一時期のことではなく、心のあり方のことだ。
若くあるためには、創造力・強い意志・情熱・勇気が必要であり、
安易に就こうとする自らを戒め、冒険する心を忘れてはならない。

人間は、年齢を重ねた時に老いるのではない。
理想をなくした時に老いるのである。

歳月は人間の皮膚に皺を刻むが、情熱の消失は心に皺を作る。
悩みや疑い・不安や恐怖・失望、これらのものこそ若さを消滅させ、
雲ひとつない空のような心を、だいなしにしてしまう元凶である。

六十歳になろうと十六歳であらうと人間は、驚きへの憧憬・夜空に輝く星座の
煌きにも似た事象や思想に対する敬愛・何かに挑戦する心・子供のような探究心・
人生の喜びとそれに対する興味を変わらず胸に抱くことができる。
人間は、信念とともに若くあり、疑念とともに老いる。

自信とともに若くあり、恐怖とともに老いる。
希望ある限り人間は若く、失望とともに老いるのである。

自然や神仏や他者から、美しさや喜び・勇気や力などを感じ取ることができる限り、
その人は若いのだ。

感性を失い、心が皮肉に被われ、嘆きや悲しみに閉ざされる時、
人間は真に老いるのである。
そのような人は神様のあわれみを乞うしかない。